

TOPICS 1
トピックス

茨木市は大丈夫？—平成26年度決算— 財政状況を見てみよう



市の財政情報発信キャラクター「**いばら^{まし}騎士**」と一緒に確認

問財政課 ☎ 620・1612



平成26年度決算が9月市議会で認定されたよ。社会福祉経費等の経常経費が増加する厳しい状況の中、「財政の健全性の確保」に努めつつ、「市民サービスの充実」を図ったんだ。



決算って、みんなが納めた税金の使い道をまとめたものだよな！平成26年度の決算はどうだったの？みんなと一緒に見ていこう！

全会計で黒字



表1の「差引」を見て。平成26年度決算も全会計で黒字になったんだ。



複数の会計があるんだよね？主に税金を使って福祉や教育などのさまざまなサービスを行うのが一般会計（メインのお財布）で、保険料や下水道の使用料などの特定の収入で特定の事業を行うのが特別会計だったよね。



そのとおり。じゃあ次は、一般会計の中身を見てみよう。

表1 会計別決算の状況 (単位：億円)

会計	一般会計	財産区	国民健康保険事業	後期高齢者医療事業	介護保険事業	公共下水道事業
歳入	889.6 (※1)	54.2	286.9	33.1	152.5	75.9
歳出	878.0 (※1)	0.9	285.4	31.9	151.1	75.9
繰越 (※2)	3.0	—	—	—	—	—
差引	8.6	53.3	1.5	1.2	1.4	0.0

差引=歳入-歳出-繰越

(※1) 借換債（一定期間経過後に借り換える借金）19億円含む

(※2) 翌年度に繰り越す財源

税の使い道はこれだ!!



一般会計の予算の主な使い道は右の通りだよ。市民1人当たりの金額にすると右の金額になるんだ。



福祉の充実や道路・公園などの整備をはじめ、さまざまな市民サービスの充実が図られたんだね。

1位

福祉の充実
140,800円

主な内訳

子育て支援 58,600円
生活保護の支給 27,200円
高齢者福祉 20,300円
障害者福祉 17,400円



3位

教育の充実
34,700円

主な内訳

学校・幼児教育
20,700円
社会教育
11,500円



2位

道路・公園等の整備
53,500円

主な内訳

道路・街路・橋梁の整備
19,700円
公園などの整備 3,300円
JR駅関連の整備 2,200円



4位 ごみの処理や医療の充実など 24,900円

5位 市債（借金）の返済 17,100円（借換債除く）

その他 36,500円

※平成27年7月末日現在の人口（279,237人）で計算



ねえレッド、黒字になったってことは、茨木市の財政は健全ってことなの？

財政が健全かどうかをチェックする方法があるんだ。次のページで説明するよ。



健全化判断比率では青信号



表2を見て。財政健全化判断比率といって、人が健康診断を受けるのと同じように、市の財政の健全性もチェックするんだ。これを信号に例えると、早期健全化基準を上回ると黄色信号、財政再生基準を上回ると赤信号、つまりその市の財政は危険ってということなんだ。



その通り！茨木市は全ての項目が赤でも黄色でもなく、青信号で健全だから市民サービスの充実に向けてどんどん新しい事業を進めていこう！

表2 平成26年度決算に基づく財政健全化判断比率

	比率の説明	茨木市	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率	一般会計の赤字の割合	赤字なし	11.25%	20.0%
連結実質赤字比率	一般会計、特別会計等の全ての会計の赤字の割合	赤字なし	16.25%	30.0%
実質公債費比率	年間の借金返済額の割合(比率は3か年の平均)	-2.1%	25.0%	35.0%
将来負担比率	将来負担が見込まれる債務の割合	-20.9%	350.0%	
資金不足比率	公営企業ごとの資金不足額が事業規模(料金収入規模)に占める割合	不足なし	20.0%	

財政の余裕度は徐々に悪化...



でもねオレンジ。グラフ1を見てごらん。経常収支比率とは財政の余裕度を表す数値なんだ。低いほうが財政に余裕があって70~80%が健全な範囲なんだけどずっと80%を超えているんだ。

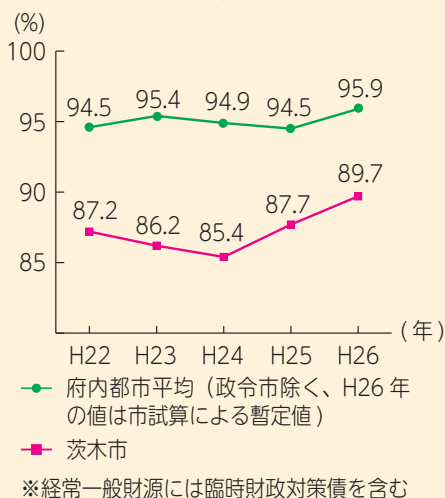


府内平均の数値よりは低いけど、平成26年度も数値は上昇してるね！

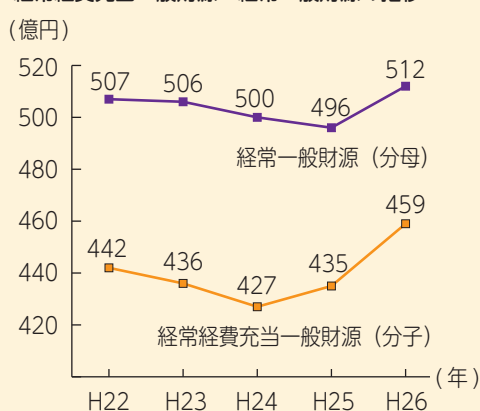


そうなんだ。グラフ2も見てくれる？経常収支比率を算出するための分母と分子に関するグラフで、数値の上昇の原因を表しているよ。経常一般財源(経常収支比率の分母)は景気の回復などによる市税の増加や、財源不足を補てんする赤字補てん債(臨時財政対策債)の発行などで増えているんだけど、それ以上に経常経費充当一般財源(経常収支比率の分子)である医療や介護、子育て支援経費などの経常的な支出が増えたことが原因なんだ。それでも茨木市は「やりくり」に努めて、府内の市町村の中では財政の健全性を保っているんだ。

グラフ1 経常収支比率の推移



グラフ2 経常経費充当一般財源・経常一般財源の推移



ビルド&スクラップでやりくり



「やりくり」って「ビルド&スクラップ」のことだよな！



そうやで、グリーン。よく勉強してるな。「やりくり」とは、限りあるお金(財源)の中でビルド(新しい事業)をするために、その分何かをスクラップ(見直し)することなんや(図1)。

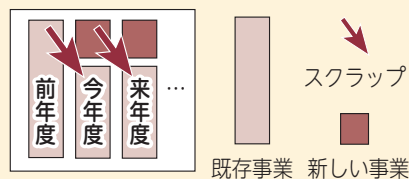


ビルド&スクラップにより、現状ではまだ健全な財政を保っているから、これからも安心だよな。



そう願うところだけど…財政状況の悪化はすぐには表面化しないんだ。徐々に進行して気づいた時には大変な状況に陥ることになるかもしれないから、健全なうちから地道な「やりくり」に努めていくことが重要なんだ！

図1 ビルド&スクラップイメージ



いばら騎士はWEBでも活躍中！

いばら騎士と税の使い道

検索

